

〔県民局便り〕

『千屋牛食べ歩きマップ』完成間近。
乞うご期待！

備中県民局農畜産物生産課畜産第二班

新見と言えば、一般的には、石灰の町、タタラ製鉄、大名行列など歴史の深い町として親しまれていますが、畜産関係者にとっては、なんといっても千屋牛が一番にイメージされるどころです。

市内入り口の国道には、あちらこちらに千屋牛の銅像が観光客をお迎えしていますが、JR新見駅に降り立っても、千屋牛があまり見あたらず、「日本最古の蔓牛（系統牛）の里」としては、まだまだPRの余地があるようです。千屋牛を新見で食べたいと思っても、どこでどんな料理が食べれるのか不明。阿新農協には、「どこで千屋牛が食べれるの？」といった問い合わせが多数あるとか。

そこで、新見市街地及び近郊で千屋牛を食べられるお店、もしくは購入可能なお店のマップの作成に着手しました。どこの関係機関にも予算がなく、パソコンで自作マップでいくことに。ところがこのマップ、完成間近になって、市の商工会議所が同様のマップを制作しているらしいとの情報はいったので、商工会議所の担当課長を伺い、制作中のマップを見せてもらいました。こちらは事業対応で、さすがプロ仕様のマップ・・・、自作版は一時お蔵入りの危機に瀕しましたが、課長にも励まされ、自作版の制作を続行することになりました。商工会議所版は、仕上がりは美しい反面、若干コストがかかり、数に限りがあるので店内でポスター的に活用。自作マップはエクセルで作っているため、情報の更新に素早く対応でき、印刷も安価なことから、お店や駅等に常備し、観光客の反応をみながら発展させていこうと考えています。掲載した店舗は千屋牛振興会の登録店です。

新見市では、千屋牛を使った新商品の開発にも力をいれています。地元新見高校の協力を得て試行錯誤の上完成した「千屋牛コンビーフ」、しっかりとした肉質が味わえる牛肉のみを使った「千屋牛肉まん」等、販売が予定されており、これらの情報も盛り込んでい



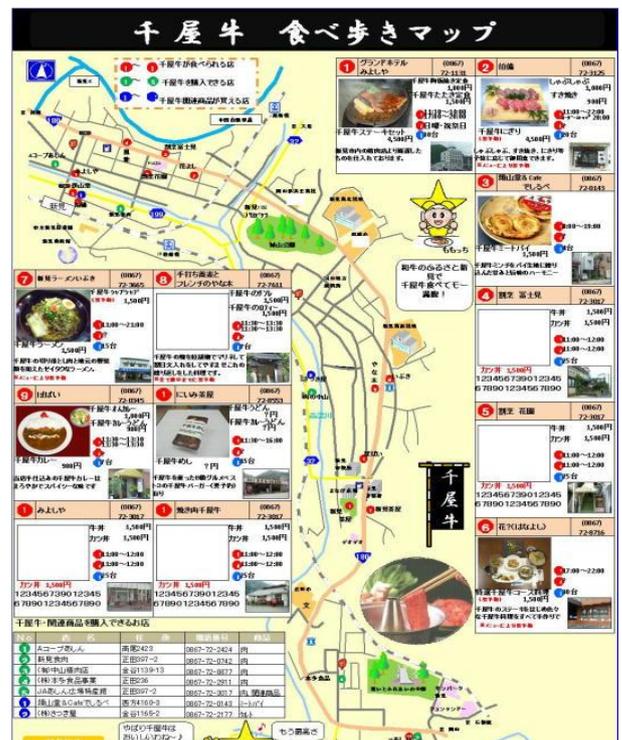
※「千屋牛物語」
新商品



お問い合わせは新見商工会議所へ

※自作版マップ

お店の外観やお勧めメニューの写真も掲載。



く予定です。

岡山畜産便り 2010.09

マップ片手に日本最古の「蔓牛」に思いを馳せながら千屋牛料理を堪能してみてください。



(裏面)

千屋牛食べ歩きマップ (新見市内)

This map provides a comprehensive guide to eating Sanyu beef in Niimi. It includes 24 numbered restaurant entries, each with a photo of a dish, the restaurant name, address, phone number, and price. The map also features sections for local products like 'Sanyu Beef' and 'Sanyu Beef Curry', and a 'Notice' section with a photo of a man. At the bottom, there are images of various Sanyu beef dishes and a small cartoon illustration.

※商工会議所版は六つ折りで観光情報も！

岡山県新見市
日本最古の蔓牛
 「竹の谷蔓」の系統
千屋牛
食マップ
物語

平成21年度 地域資源∞全国展開プロジェクト

千屋牛
食マップ
物語

This map covers a wider area around Niimi, including surrounding towns. It features a legend for restaurant types (e.g., '千屋牛肉を販売する店', '千屋牛を食べられる店', '千屋牛肉関連商品の販売店'). Below the map is a detailed list of '観覧へのアクセス、周辺情報' (Access and Surrounding Information), including names of local government offices, schools, and other facilities with their addresses and phone numbers.